

未来の自分のために

私はまだ将来の目標が決まっていません。しかし今、興味を持って取り組んでいることがあります。私の通っている深志高校に昨年新しく設置された地域交流委員会での活動です。この委員会は、近隣地域と深志高校の間に生ずる課題の解決、地域との交流の推進を目標としています。

人と接することが好きだった私は、地域の方々と関われる活動をしたいと思い、この委員会に入りました。そして、昨年10月に2代目の委員長を任せてもらうことになりました。それは非常に嬉しく、誇り高いことでしたが、就任後はそう上手くはいきません。

資料整理が下手、関係者への連絡の怠りなど、様々な欠点が可視化されるようになりました。それは自分を絶望のどん底に落としましたが、最近では、そこから這い上がるための努力が自分を成長させる要因となるのではないかと思っています。委員会活動を通して、社会性を培い、未来の自分に選択肢が増えることを願います。 高校生 青柳 春佳

未来を担う若人たちの

中学校に入って がんばりたいこと

僕が中学校に入ってがんばりたいことは、二つあります。

一つ目は、「友達を作ること」です。なぜかというと、筑摩小学校からはほとんどの人が開成中学校に行くのですが、僕は他の中学校に行くので友達がほとんどいなくなってしまいます。なので、まず新しい友達を作り、一緒にたくさんの思い出を作りたいです。

二つ目は、「プログラミング」です。僕は今プログラミングを父から教えてもらっています。プログラミングとは、色々な言語でパソコンに命令を出すものです。ゲーム等もプログラミングで作っています。中学生になると勉強が難しくなり部活も忙しくなると思いますが、僕はプログラミングが好きなので、複雑なゲーム等を作れるようになりたいです。

どんな中学校生活を送ることになるか、わくわくしています。

新中学生 富田 覚弥

館報

庄内



庄内地区	
平成30年3月1日現在人口	
世帯数	6,854戸
男	7,452人
女	7,423人
合計	14,875人
発行 庄内地区公民館	
(ゆめひろば庄内)	
電話	24-1811
FAX	24-1812

いろいろな **夢** が始まります

初めて参加して

松本に嫁いできてママになり、周りに知り合いが無くて不安でいっぱいでした。そんな時福祉ひろばの存在を知り、さっそく出かけてみることにしました。小さな子ども達が楽しそうに遊んでいた、保育科の学生がイクメンジャーになって大盛り上がり！子ども達のキラキラした目を見て次回も参加決定。

何となく過ぎていってしまう毎日がもったいないと思っていた自分と娘が楽しむ居場所が見つけれられて、誘ってくれた方に感謝しています。 新米ママ

への一歩

みんなが笑顔に

私が所属するコミュニティ推進部は、松本市をはじめとする6市町村を中心にスポーツを通した様々な活動を展開しています。今年度も「スマイル山雅」というテーマのもと、活動を通じて多くの皆様が笑顔になれるように、また地域の皆様の声を大切にニーズに合わせた活動を展開し、地域が活性化するように努めていきたいと考えています。

このような目標を胸に充実した日々を過ごし、子どもたちに“将来、松本山雅で働きたい!”と思ってもらえるような存在になれるよう頑張りたいと思います。

今後とも、松本山雅を応援していただけたらうれしいです。 よろしくお願い致します。 (株)松本山雅 渡邊はるか

さて、出会いと別れの多いこの時期に東京へ行きました。そこで不動産会社を訪れている親子連れに多く出会いました。私も4年前、息子が東京の学校に入学が決まり、学校の推薦の不動産会社へアパート探しに行き苦労したことを思い出しました。そんな風景を見て私も町会活動足かけ8年目に突入しますが、改めて初心に戻った気分になりました。これから庄内地区の発展・自分達の町会のために頑張ろう!と思った、1泊2日の東京での出来事でした。(N)



春とはいっても朝夕はまだ冷え込み、3月1日に雪も降りましたが、木々の芽吹きに春を感じるようになりました。いよいよ3月になり、町会活動の総決算の時期に突入しました。新旧役員引継ぎ、総会に向け大忙しだと思います。旧役員の皆様、大変お疲れ様でした。もうひと頑張りです。今後も庄内地区発展のためにお力添えをよろしくお願いいたします。新役員の皆様、地区には沢山の良き協力者がいるので、相談しながら頑張ってください。

きらりわが街 出川町第二町会

◆歴史・沿革

出川の歴史は遡れば縄文時代まで至ります。最近の道路工事の際にも土器などが出土し、それを裏つけております。室町時代以降も小笠原氏が館を構えた当時の小島村に接し、江戸時代には善光寺街道が通り松本城下への南の関門の役割を果たす等、常に松本の発展と歩みを一つにしてきました。特に近年の出川周辺は大型店の郊外出店に伴い、

その中心域として変貌を遂げております。今後歴史的文化遺産を維持保全しながら町の発展を展望できたらと思っております。

尚、我町会は昭和47年5月に小川から分区分し、出川町第一町会となり現在に至っております。

◆地名の由来

幾度かの大洪水により現在の芳川、出川、井川城、鎌田方面へ川となつて流れた跡が地下構造で解明されています。そのため出川には大小の湧水池が出来て小川となつて流れ

ました。小川が無数に流れ出ている所から、出河川↓出川となつたのではないかと問われています。

◆納涼祭

町会の公民活動として平成6年に始まったこの祭は24回を迎え、今年も盛大に催されました。年々参加者も増え町会の一大イベントとなっております。参加者は老若男女問わず三百名ほどになり町内の懇親、親睦を深め、町内の絆を一層高めております。

祭の準備は7月より始まり、町会役員、公民館長が企

画し、8月の初めに町の諸団体、民生委員、健康推進委員にも参画して頂き、祭実行委員会を開催し役割分担します。開催日は毎年盆明けの土日を選択し、庄内体育館を主会場としています。広報は、七ヶ所のゴミステーションに看板を掲示、案内通知を全戸配布します。

当日のプログラムは盆踊り、ビンゴゲーム、お楽しみ抽選会、スイカを食べよう、花火大会、ビールジュース大会など盛り沢山で大変盛り上がりがあります。

公民館報拡大版のお知らせ

館報編集委員会では、より多くの皆様に公民館報をご覧いただきたいと考え、大型印刷機を使い、館報を拡大して掲示しております。

ゆめひろば庄内1階の他、庄内地区15町会の公民館にもご協力を頂いております。



写真はゆめひろば庄内1F

きらりわが街 筑摩東町会

当町会は庄内地区内の町会でも歴史の浅い町会です。

と一部雑木林でした。現在ではこの面影は殆どありません。町会の北には薄川が流れ、東には林城址や千鹿頭山が近接しております。

大きな花壇を三基、市担当課の支援を頂きながら設置し、四季を通して、通行する皆さんの目を楽しませてくれております。毎年5月と11月に植え替えをしております。

先輩が指導者となり、松飾り用の「しめ縄づくり」を主体とする藁細工の工作会を開催しております。文字通り老若男女、園児も参加し好評を得ており、多くの方々が伝統を引き継いでいます。

この度公民館長を退任することになりました。連合会長時と併せ、地域の皆様方には温かい御支援を賜り誠にありがとうございます。生きがいづくり、地域防災、包括ケアの拠点として公民館の重要性が見直されています。

退任ご挨拶

草間 秀

◆歴史的には
筑摩神社遊園地内北に旧町名の名残りや歴史的意義を刻んだ石柱がある。この石柱の中に「筑摩東は昭和30年頃神社東の地域に生まれた」とある。既に60余年となる。

また、古くから筑摩(つかま)の呼称を受け継いで、多くの人が愛着と伝統的風潮を感じております。

平成3(1991)年、関係官庁のご配慮で松商学園と自動車教習所間に見晴橋が完成しました。この橋の上から観る川の流れや涼風と四方の雄大な岳々の眺望は最高です。

毎年夏休みの時期に、小学生以下の子どもさんを対象に水や魚と戯れ、またスイカ割りなどはPTAが中心となり、親子での体験を継続しております。実施場所は薄川の中を主に、天候等の事情により、あがたの森四角池を利用して頂くこともあります。

町会員の連携と和づくりを目的に、11の同好会があります。頭と身体の運動能力の維持・向上も期待し、和気藹々の中で、それぞれ楽しんでおります。同好会への加入延べ人数は200人を超えています。

庄内地区の皆様のご協力により益々価値ある公民館となるよう願っております。

◆地理的には

町会誕生の頃は大半が畑地

市の花いっばい運動に当初から賛同し、河川敷内で活動してききましたが、遠くでよく見えず、もっと身近に」と、

2011年見晴橋南の土手に

200人を超えています。

皆様の健康を祈念申し上げます。

草間 秀

